



かわむら
川村
てっぺい
鉄兵さん

就農年月：平成 19 年 4 月 (就農時 27 歳)
就農場所：福井市下市町、佐野町
出身地：福井市 (非農家出身)

地域の仲間と大規模園芸経営にチャレンジ! ～農業の世界に夢をのせて～

- ・ふくいアグリスクール入門コースと里親農家で研修し、同世代の仲間と合同会社 光合星を設立(平成 20 年)
- ・ハウレンソウの福井県特別栽培農産物の認証や独自に開発した生育予測システムで円滑な企業運営を実現

経営内容：合同会社 光合星

品 目：ハウレンソウ(ハウス 35 棟 118a)

販売先：J A 出荷、契約出荷

労働力：法人社員 3 名(本人含む)、雇用 6 名

※会社とは別に、ハウレンソウ(ハウス 2 棟 15a)を自己経営



農業を始めたきっかけは？(就農の動機)

以前から農業に興味があり、脱サラして農業をしたいという思いがありました。ただ、経営する部門(作物)は決めかねており、行政や J A、地域の若い農業者などを積極的に訪ねました。

そこでの数々の現場の話や体験・研修を通じ、園芸経営を目指すと決め、必要な知識と教養を身につけていきました。

就農までの道のり・苦労した点

1 栽培技術の習得

福井市内の施設園芸農家で、トマトや軟弱野菜の栽培技術、販売管理などについて1年間研修を行い、基本的な技術を身につけることができました。

また、市内の若手農業者との人脈も築くことができました。

今は、関係者の協力を得て開発した「ハウレンソウの生育予測システム」を活用しながら栽培計画を立て、経営を効率化しています。


2 農地の確保や施設などの整備

就農当初は、行政やJAなどの協力で、福井市内の空きハウスを借り、管理機や播種機などの小農具は県・市の事業を活用して、施設園芸を開始しました。

その後、市内の若手農業者で大規模施設園芸を経営する話が持ち上がり、そこに参画させていただき、法人の一員となって現在に至っています。

3 家族の理解など

妻や両親は、自分の農業に対する意欲を理解してくれており、父親には収穫や出荷などの手伝いをしてもらっています。



非農家出身で、右も左も分かりませんでした。何としても就農するという強い意志を持つこと、様々な方との人脈を作ることで、今の自分がいると思います。
幅広く仲間づくりをすることは、就農後の支えになりますよ。

